

課題情報シート

課題名： モバイル端末掲示板、メール、メモ アプリの開発
 施設名： 九州職業能力開発大学校 附属川内職業能力開発短期大学校 課程名： 専門課程
 訓練系科名 情報技術科 課題の区分 総合制作実習課題 課題の形態 制作

課題の制作・開発目的

【課題実習の前提となる科目または知識、技能・技術】
ソフトウェア制作実習

【課題に取り組む推奨段階】
ソフトウェア制作実習修了後

【課題によって養成する知識、技能・技術】
プログラム設計・製作

【課題実習の時間と人数】
 人数 1名
 時間 380時間

環境ごとに備えるインターフェイスは様々で、ソフトウェアに要求される機能や操作性も大きく異なります。

本システムでは、そうした多様なソフトウェア動作環境の中から とくに携帯電話端末を選び、これに特化したソフトウェアを開発しました。携帯電話アプリ（今回はS!アプリ:Softbank）の開発について、PC開発との違いを含め全般的な知識をつけることを目指しました。

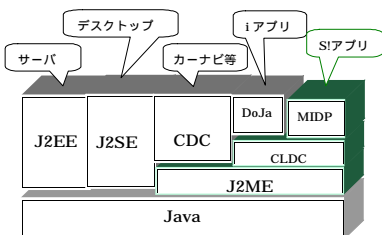
また作品の企画・設計を行う際、「PCでなく モバイル環境で動作してこそ役立つソフトウェアとはどのようなものか」を十分考慮するよう心がけました。

端末に常駐する（いわゆる待受アプリ）
 現在の電池残量，電波の強さ，日時を表示する
 電話着信、メール受信、アラーム起動時にアイコンで通知を行う
 簡易メモ機能を備える。メモは待ち受け画面に付箋として表示できる

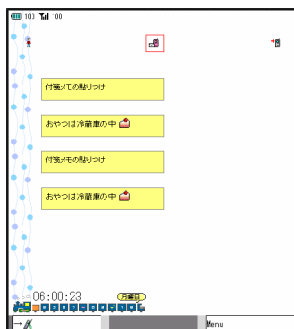
課題の成果概要

制作目的の1つであった携帯アプリ開発の全般的な理解は、大方達成できました。ただ「モバイル端末で動作してこそ役に立つソフトウェア」の企画・制作のためには、携帯電話においては達成出来たが、モバイル全体としては少し時間が足りなかった為に若干改善を図る必要があると考えます。

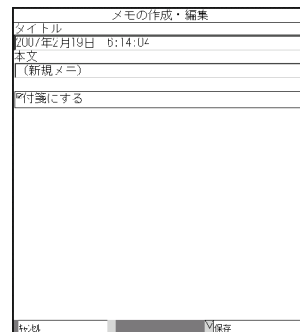
例えば コードが長くなったり、描画する画像が1つ増えたりすると、目に見えて処理速度が低下しました。これは、PCとの端末能力の差によるものだろうと考えます。こういったことは、エミュレータのみで動作確認していると忘れがちな点なので、意識して無駄の無いコードを書くようにしなければならぬと考えます。



< アプリ開発技術概要 >



< アプリ画面 >



< メモ編集フォーム >

課題制作・開発のポイントおよび所見

製作したシステムの各種分析設計結果を踏まえ、より製作物の機能向上のために対策を検討することを通じて、情報収集能力、問題解決能力、調整能力、協調性の養成と創意工夫する能力を養成します。

これらの能力を養成するために、「市場分析、機能分析結果を把握させ、問題となる項目をP D C Aに基づきシステムを検証し、問題に関係するシステム箇所を探索すること」をテーマに検討させ、把握させました。続いてシステムの問題の箇所を改善するための想定案を検討させ、これからの各種問題点、想定されるコストや製作期間等も含めて、議論により問題解決の可能性の高い改善案を案出し、検証をおこなったところ、最も問題の解決に近い結果を得ることができたと考えます。

また 総合説策における設計手順において、テーマ発想、企画検討、企画内容に対する研究の為の情報集と目的・目標の再確認、プロジェクト計画作成、上流工程、下流工程の設計等の手順を遵守する為の進捗管理を徹底することが必要です。

課題に関する問い合わせ先

施設名 九州職業能力開発大学校 附属川内職業能力開発短期大学校

住所 〒 895-0211
鹿児島県薩摩川内市高城町2526

電話番号 0996-22-2121 (代表)

施設Webアドレス <http://www.ehdo.go.jp/kagoshima/sendai/index.htm>